

ボーイ隊の活動方針について

1. ボーイスカウト部門の特色

- ・ボーイ隊での活動がスカウト運動の本質です。
- ・スカウトが組織する「班」は、大人社会の縮図です。班運営をスカウトに任せることにより、責任感・指導力・協調性・自信といった資質を発達させます。
- ・「ちかい」と「おきて」の実践は、より良い社会人になるための第一歩です。

2. スカウト精神に基づくプログラムの展開

- ・キャンプなど野外活動を通じて総合的成長を促進します・・・【**野外活動**】の充実
- ・班に所属し仲間（班員）と活動する喜びを意識させます・・・【**班制度**】の徹底
- ・「出来た（挑戦した）」ことに対し公平な評価をします・・・【**進歩制度**】の活用
- ・カブスカウト、ビーバースカウトの目標となるプログラムを行います。
- ・スカウト精神を具体化し、良き社会人とは何かを考えさせます。

3. 具体的なプログラム

①班会議→班集会→隊集会→隊キャンプの流れ

班長を中心にしたスカウトによる「班会議」を起点にしてプログラムが進められます。班集会では、班で企画したハイキングや技能修得プログラムが実施され、隊集会や隊キャンプでその成果を発揮します。

指導者は、スカウトの自主性を引き出すことを主眼として支援します。

②より良い社会人のための野外活動（キャンプ）

野外活動は、肉体的な発達・協調性など社会性の発達・野外生活技術や科学的知識など知的な発達・大自然の驚異による精神的発達など、こどもの発達や成長にとって総合的な効力を持っています。

キャンプは、ボーイ隊活動の目的ではなく、スカウト運動の理念である、スカウトをより良い社会人に育て上げるための最良の方法として実施されます。

③ターゲットバッジの取得を通じた技術向上

ターゲットバッジは、ボーイ隊進歩制度の中心となる修得科目です。

班集会やキャンプの中で、スカウトが楽しみながら様々な技術を身に付けられるよう、アドバイスしていきます。

【 ちかい 】

私は、名誉にかけて、次の3条の実行を誓います

- 一、神（仏）と国とに誠を尽くしおきてを守ります
- 一、いつも、他の人々をたすけます
- 一、からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います

【 おきて 】

1. スカウトは誠実である

スカウトは、信頼される人になります。

真心をこめて、自分のつとめを果たし、名誉を保つ努力をします。

2. スカウトは友情にあつい

スカウトは、兄弟として仲よく助け合います。

全ての人を友とし、相手の立場や考え方を尊重し、思いやりのある人になります。

3. スカウトは礼儀正しい

スカウトは、規律正しい生活をし、目上の人を敬います。

言葉づかいや服装に気をつけ、行いを正しくします。

4. スカウトは親切である

スカウトは、すべての人の力になります。

幼いもの、年寄り、体の不自由な人をいたわり、動植物にもやさしくします。

5. スカウトは快活である

スカウトは、明るく、朗らかに、いつも笑顔でいます。

不平不満を言わず、元気よく、進んでものごとを行います。

6. スカウトは質素である

スカウトは、物や時間を大切にします。

無駄を省き、ぜいたくをせず、役立つものを活用します。

7. スカウトは勇敢である

スカウトは、勇気をもって、正しく行動します。

どんな困難なことがあってもくじけずに、新しい道をきり開きます。

8. スカウトは感謝の心をもつ

スカウトは、信仰をあつくし、自然と社会の恵みに感謝します。

お礼の心で、自然をいつくしみ、社会に奉仕します。

……少年は「するな」によって統括されるのではなく、「する」によって導かれていく。スカウトのおきては、彼が間違いをしないように阻止するものとしてより、むしろ行動の指針とするために考案されたのである。……

(バーデン・パウエル「隊長の手引」国際版)